

被爆者証言をアラビア語に翻訳し、中東・アラブ・北アフリカ諸国の特に若者に、被爆の実相を伝える事業

被爆者証言の世界化ネットワーク（通称NET-GTAS）

事業目的

「国際世論を『核なき世界』へ転換する」という課題を達成するためには、世界の市民の誰もが「自分たちの母語で」被爆の実相を知ることがとても重要です。そこで、世界中で今まさに起きている戦争・紛争に曝されている国々・諸地域の中でも、特にその渦中にあり、さらに最近国際社会で注目を浴びている「グローバル・サウス」の国々でもある中東、アラブ、北アフリカ諸国、すなわち、アラビア語圏にターゲットを絞り、その若者たちに被爆の実相を彼らの母語で具体的に知ってもらい、核廃絶の必要性を理解してもらうことを目指します。



事業内容

従来日本語のみであった被爆者証言映像をアラビア語に翻訳すると共に、言語表現だけでは理解の難しい被爆実態を示す画像・映像をSNS、特に現地の若い層に広く普及しているFacebookにアップし、対象を限定した有償広告も利用することで、広く効果的な普及を図ります。また、専用ページを作ることで、一過性ではなく、今後も証言映像拡散に活用できる拠点作りも目指します。



ターゲット

アラビア語圏は中東・アラブ・北アフリカの数多くの国・地域にわたっており、これらの国々では若者の割合が非常に大きく、かつ若者の間でSNS、特にFacebookの利用者数が膨大です。こうしたメディアを利用する事で、多くの若者に対して、日本の被爆体験を効率的に伝えることができます。



こちらからサイトをご覧ください

<https://x.gd/bxlFd>

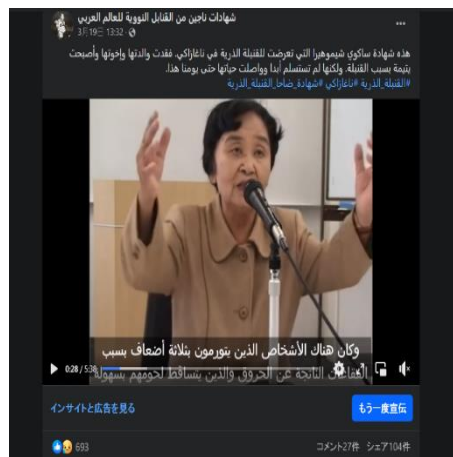
この事業の
新しさ

- ・アラビア語という視点が新しく、今後重要になる地域へのアプローチは大きな意義を感じる
- ・Facebook広告によるアクセス数やどのような反応が生まれるか興味深い事業

成果

4つの被爆証言映像をアラビア語に翻訳し、字幕を付けた映像をFacebookページへアップロードし、広告配信を行いました。配信ターゲットは、アラビア語圏の10代から30代または20代から40代までとしました。以下がその結果となります。

証言者名	広告配信日	リーチ数	視聴回数	反応数
下平作江さん	3/19 ～ 3/26	140,952	27,200	693
梶矢文昭さん	3/20 ～ 3/26	27,941	14,332	283
池田早苗さん	3/20 ～ 3/26	190,113	33,439	704
谷口稜曄さん	3/20 ～ 3/27	208,031	42,971	703



今回の事業を通して感じたこと

予想以上に多くのアラブの人々に証言映像が届き、視聴していただくことができました。また、反対意見による炎上等もなく、冷静に視聴していただけた印象です。コメントが全てアラビア語で行われていることから、英語だけでは届かなかった人々に母語で伝える作業が機能したと言えます。ただ、コメントを読んだところ、原爆を投下した米国への日本の追従という矛盾に注目している方が予想以上に多いことを感じました。やはり、最近ではイスラエルとガザの戦争の影響もあるため尚更ですが、アラブとイスラエル・米国の関係を重視した上で日本の立ち位置が注視されていることは、アラブ世界に被爆者証言を届ける上で無視してはいけない点だということも痛感しました。

今後の展望

今回の広告配信の結果を分析し、より効率的にアラブの若者に被爆者証言を届けるために改善できる部分を見つけ出し、それを生かしてさらなるページの改良や広告配信を行っていきたいです。ページのフォロワーさんも予想以上に増えたため、今後このページに他の被爆者証言を投稿していけばだんだんと広告に頼らずとも一定の拡散力・成長性が確保できる状態になることが目指せそうです。また、今後はこちらからの一方的な情報提供にとどまらず、アンケート機能なども活用してより双方向の意見交換ができるようなページにしていくことも考えています。